



ライオンズ公認講師プログラム (LCIP)

LCIP 認定研修申込書

開催場所：タイ、バンコク

開催日：2020 年 1 月 18 日～21 日

申込締切日：2019 年 11 月 4 日

申請者：会則地域 V - 東洋東南アジアのライオンズ

使用言語：中国語, 英語, 日本語 および 韓国語

ライオンズ公認講師プログラム (LCIP) の目的

認定を受けた講師の数を増やすことにより、あらゆるレベルで一貫して効果的な研修を実施すると同時に、講師の知識と経験の幅を広げ、深めていくための枠組みを提供することです。

LCIP 認定研修の目的

対面式で実施する LCIP 研修の目的は、研修を実施した経験はあっても、FVDG/DGE セミナーのグループリーダーやライオンズクラブ国際協会主催の研究会の講師を務めたことのないライオンが、知識を高め、認定評価を受ける機会を含め、研修能力を発揮する場を与えることです。

参加申込者の資格要件

LCIP 認定研修への申請が可能なのは、次の資格要件を一つ以上満たすライオンのみです。

- FVDG/DGE セミナーのグループリーダーや国際協会主催で行われる研究会で講師を務めた経験はないが、専門的に講師または教育者として活動した経験が 5 年間以上あるライオン。
- 地域におけるライオンズの研修（地方ライオンズ・リーダーシップ研究会、クラブ役員を対象とした地区レベルの研修など）で講師を務めた、もしくはフォーラムでライオンズの研修を行った経験のあるライオン。
- 2012 年 7 月 以前に FVDG/DGE セミナーまたは国際協会主催の研究会で講師を務めた経験のあるライオン。

本書は、研修への参加を申し込むものです。2012 年 7 月 から現在までに、FVDG/DGE セミナーまたはライオンズクラブ国際協会主催の研究会で講師を務めたことのあるライオンは、研修の受講ではなく、LCIP 認定のための授業観察を要請することができます。観察のみを希望する場合の申込書は、ウェブサイトのリソースのセクションから入手してください。

選考過程

リーダーシップ開発チームの担当者による申込書の一次審査およびグローバル・アクション・チームの会則地域リーダーまたは各国全域リーダーによる最終審査など、いくつかの要素を検討した上で選考を行います。結果は申込締切日から約 4 週間後に、申込書に記された E メールアドレスに通知されます。

LCIP 認定手順

ライオンズ公認講師としての認定の可否は、研修の間に設けられるスキル評価の際に候補者が発揮する能力に基づき決定されます。評価の結果は研修終了後、約 6～8 週間後に候補者に通知されます。

対面型の LCIP 研修に伴う個人の経費に関する方針

ライオンズクラブ国際協会は、研修の日程に従って食費と宿泊費を負担します。理事会方針に従い、プログラムに参加するには、**200 ドル**の参加費（返金不可）がかかります。参加費は、研修開始日の **6 週間前**までに支払わなければなりません。ただし、参加が認められたことを通知する文書を受け取るまでは、払い込まないでください。研修会場への往復交通費およびその他の旅行関連経費も、参加者の自己負担となります。

ライオンズ公認講師に期待されること

1. 以下を含めて（ただしこれらに限定されず）、あらゆるレベルの指導力育成プログラムで講師を務めること。

クラブ役員研修、ゾーン・チェアパーソン研修、地方ライオンズ・リーダーシップ研究会、第一および第二副地区ガバナー研修、初級ライオンズ・リーダーシップ研究会、上級ライオンズ・リーダーシップ研究会、講師育成研究会、ライオンズ公認講師プログラム、および要請されたその他のプログラム。

2. 自ら進んで能力向上の機会を求め、上記を含む（ただしこれらに限定されず）あらゆるレベルでの研修を積極的に担当すること。
3. グローバル・アクション・チームの指導力育成チームと協力し、所屬地域の研修の状況と研修に関するニーズについて、リーダーシップ開発部に定期的に最新情報を提供すること。

重要事項

- ・ **LCIP は厳正な選考を伴うプログラムです。プログラムに必ず参加できるという保証はなく、また参加しても、必ずしも認定されるとは限りません。**
- ・ **認定された場合、有効期間は 3 年です。この期間を過ぎると、再認定を申し込むことができません。**
- ・ **2020 年 7 月より、ライオンズクラブ国際協会主催の研究会の講師および FVDG/DGE セミナーのグループリーダーを務めるには、LCIP の認定を受けていることが条件となります。**

申込手順

選考の対象となるには提出期限までに、必要事項を記入した所定の LCIP 認定研修申込書を提出する必要があります。

申込締切日: 2019 年 11 月 4 日

研修申込書は、E メールで LCIP@lionsclubs.org まで送ってください。

申込書を提出すると、受領を通知する自動返信メールが届きます。万一この返信メールが届かない場合には、迷惑メールボックスをご確認の上、必要に応じて再提出してください。

E メールでの提出が難しい場合には、+1 630-706-9010 まで FAX でお送りください。



ライオンズ公認講師プログラム

タイ、バンコク

2020 年 1 月 18 日～21 日

パート 1: 参加申込者に関する情報

地区名 _____ 会員番号 _____

名 (ローマ字) _____ 姓 (ローマ字) _____

E メール* _____ * 研究会に関する連絡は E メールで行いますので、活字体ローマ字でご記入ください。

都道府県 _____ 国 _____

性別 ☐ 男性 ☐ 女性 ライオンズクラブに入会した年月 _____

クラブ番号 _____ ライオンズクラブ名 _____

現在のライオンズ役職 _____ ライオンズクラブで務めた最高役職 _____

講義の希望言語: ☐ 中国語 ☐ 英語 ☐ 日本語 ☐ 韓国語

二つ以上の言語を選択した場合には、講義の第一希望言語を指定してください。 _____

☐ 私は確かに、上記に指定した言語を理解し、読み・書き・流暢に話すスキルを使って積極的に参加する能力があります。

パート 2: ライオンズクラブ国際協会の研修経験

タイプもしくは手書きで丁寧に記入し、必要に応じて別紙を追加してください。

ライオンズクラブ国際協会主催の下記の研修に参加したことがあるか、および参加した時の立場を、☒を入れて示してください。必要に応じて、クラブレベルの研修やその他の研修を追加してください。

研修プログラム	単なる参加者として	進行役/講師として	最近の実施年度	合計実施回数
国際レベルでの第一副地区ガバナー/地区ガバナー-エレクト (FVDG/DGE) セミナー (FVDG/DGE グループリーダー)	☐	☐	_____	_____
☐ 講師育成研究会 (FDI)	☐	☐	_____	_____
☐ 講師育成エクセレンスシリーズ (FDES)	☐	☐	_____	_____
☐ 上級ライオンズ・リーダーシップ研究会 (ALLI)	☐	☐	_____	_____
☐ 初級ライオンズ・リーダーシップ研究会 (ELLI)	☐	☐	_____	_____
☐ 地方ライオンズ・リーダーシップ研究会 (RLLI)	☐	☐	_____	_____
☐ クラブ役員研修	☐	☐	_____	_____
☐ 協議会議長研修	☐	☐	_____	_____
☐ ゾーン・チェアパーソン研修	☐	☐	_____	_____
☐ 第二副地区ガバナー研修	☐	☐	_____	_____
☐ その他: _____	☐	☐	_____	_____
☐ その他: _____	☐	☐	_____	_____
☐ その他: _____	☐	☐	_____	_____

□ その他： _____

□

□

ライオンズの研修に関するご自身の経験について詳述してください。長さに制限はありません。上記の他に、LCIP の候補者としての適性を裏付けるようなライオンズクラブ国際協会での経験があれば、ご記入ください。（ライオンズクラブ国際協会以外での経験は、次のセクションにご記入ください。）

パート 3: ライオンズ以外での研修経験

研修に関連する一般的な経歴をご記入ください。

役職および/または職業 _____

分野および雇用者 _____

主な職務 _____

研修形式に関して、ライオンズクラブ国際協会以外における経験の程度を ☒ を入れて示してください。

人前でのスピーチ

- ☐ 経験なし
- ☐ ある程度あり
- ☐ 大いにあり

最大参加者数： _____

標準的なクラスでの授業

- ☐ 経験なし
- ☐ ある程度あり
- ☐ 大いにあり

最大参加者数： _____

グループ討論の進行

- ☐ 経験なし
- ☐ ある程度あり
- ☐ 大いにあり

最大参加者数： _____

研修トピックに関して、ライオンズクラブ国際協会以外での経験の程度を ☒ を入れて示してください。

対人スキルに関する研修の実施

（コミュニケーション、対立の解消など）

- ☐ 経験なし
- ☐ ある程度あり
- ☐ 大いにあり

新人教育/人材育成に関連した研修の実施

（同僚への説明や手順の指導など）：

- ☐ 経験なし
- ☐ ある程度あり
- ☐ 大いにあり

研修に関連する事項に関して、ライオンズクラブ国際協会以外での経験の程度を ☒ を入れて示してください。

多様な聴衆に対する研修の実施

（さまざまな文化、性別のグループなど）

- ☐ 経験なし
- ☐ ある程度あり
- ☐ 大いにあり

研修準備または実施の際のテクノロジーの活用

（Word での編集、PowerPoint でのプレゼンテーションなど）

- ☐ 経験なし
- ☐ ある程度あり
- ☐ 大いにあり

4 ページの記載内容について詳述してください。長さに制限はありません。LCIP の候補者としての適性を裏付けるその他のスキルや経験があれば、ご記入ください。

パート 4: 個人的な動機

ライオンズ公認講師プログラム（LCIP）による認定が重要である理由をご説明ください。

パート 5: その他の情報（紙の書式にご記入の場合には、必要に応じて別紙をお使いください。）

- 1) 参加者にとって有益な学習環境をどのように構築していますか？
すべての学習者にとって有益な体験となるような雰囲気作りのために、すること、もしくは敢えてしないことを考えてみてください。

- 2) 研修において、成人学習の原則をどのように有効活用してきたか、一つ例を挙げてください。
セッションやその一部において、どのように積極性や協力を促してきたか、学習者の人生経験・知識・目標などをどのように考慮してきたかを考えてください。

- 3) 研修セッションにおいて、さまざまな学習スタイル、ニーズにどのように対応してきたか、一つ例を挙げてください。特定のタイプの学習者に対応するために役立ててきた教材や、教材を変更したケースについて考えてください。

- 4) 次のタイプの参加者にどのように対処するか、説明してください。
 - a. トピックとは関係のない発言によって、頻繁に講義を中断させる参加者。

 - b. 討論の時に意見を言わない参加者。

 - c. セッション中に携帯電話でメールをしたり、Eメールをチェックしたりしている参加者。

5) LCIP の参加者として選ばれたとしたら、LCIP を通して特にどのような知識またはスキルを向上させたいですか？

6) ライオンズの使命「ウィ・サーブ」にとって、指導力育成（およびそのために役立つ効果的な研修の機会の提供）が重要なのはなぜでしょうか？

パート 6: 申込者による確認事項

次の各文章を読み、下線部の上にイニシャルを書き入んだ上で、ライオンズ公認講師プログラム（LCIP）に伴う責任を理解していることを、署名によって示してください。

_____ 私は研修への参加（または観察を受けること）が必ず**認められる**という保証はなく、また参加しても、必ずしも認定されるとは限らないことを理解しています。私は、ライオンズ公認講師としての適性評価を受ける意志があります。

_____ 認定を受けた場合には、私は**3 年の認定有効期間を通じて**、所属する地区や複合地区において教育と研修の実施に積極的に取り組みます。

_____ 認定を受けたとしても、私が特定の役職や委員会に任命される、または研修等を割り当てられるとは限らないことを私は理解しています。また、私の認定によって最も直接的に利益を受ける可能性のある人々に対して、私が **LCIP 講師**として役に立てることを**積極的に伝える**必要があることも、理解しています。

_____ 私は、前述のライオンズ公認講師プログラムに伴う**個人の経費に関する方針**を理解し、同意します。

参加申込者氏名

署名

日付